

【テサロニケ人への手紙第一 5：19～22 節】 御霊を消してはなりません。
預言をないがしろにしてはいけません。すべてのことを見分けて、ほんとう
に良いものを堅く守りなさい。悪はどんな悪でも避けなさい。

私たちクリスチャン一人一人が信仰の歩みをするなかで、「御^{みたま}霊を消してはなりません。」と、御霊の賜物^{たまもの}をもちいることが大切であると語られています。そして、「預言
をないがしろにしてはいけません。」と、9つの御霊の賜物のなかで、特に、「預言の賜
物」をもちいるように命じられています。

「愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言することを熱心に求めなさい。」
(I コリント 14：1)。この聖書箇所でも、「愛を追い求めること」とともに「御霊の
賜物」をもちいるように、さらに「特に預言することを熱心に求めなさい。」と、預言
の賜物を熱心にもちいるように命じられています。私たちの TLEA の教会の群れにおい
ては、教会設立当初に、「主に祈り聞き従う」信仰の歩みが導かれてきましたが、次第に、
「祈り～聞く～吟味する。」ことに非常に多くの時間を要する事態となりました。「速
く、祈り・聞き・従うことができるように。」と、祈り求めているなかで、主は、預言
の賜物をもちいるように導いて下さいました。そして、預言を、聖書を土台としてもち
い、教会の管理の下で「すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りな
さい。」と書かれているように、預言のことばを吟味し、ほんとうに主が語られた良いも
のだけを受け取るように導かれてきました。さらに、「悪はどんな悪でも避けなさい。」
と、主からのものでないもの（悪）を避けるようにとも命じられています。

ですから、私たちの名護アンテオケ教会においても、預言の賜物を聖書的に正しくも
ちいて、教会をとうして顕された主の栄光のみ業を、さらに多くみてまいりましょう。

